

事業番号

0171

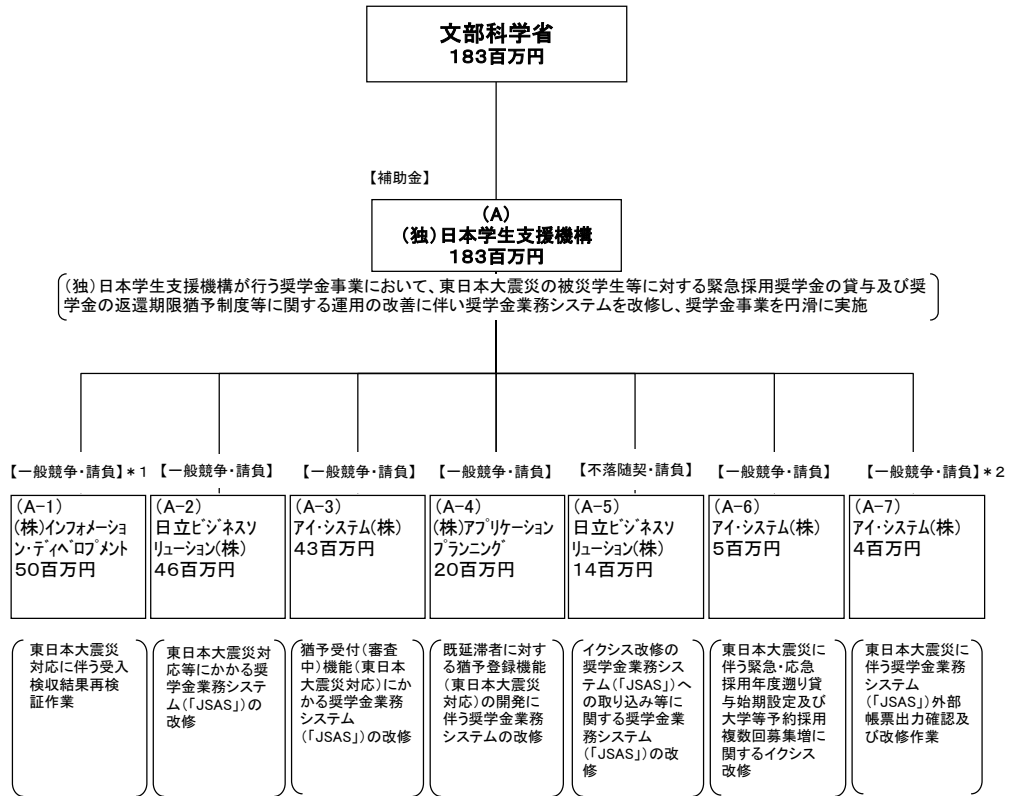
平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	育英事業に必要な経費（奨学金貸与等に対応するシステムの構築）（復興関連事業）		担当部局庁	高等教育局		作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度	平成23年度		担当課室	学生・留学生課		学生・留学生課長 松尾 泰樹			
会計区分	一般会計		施策名	V-1「意欲・能力のある学生に対する奨学金事業の推進」					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人日本学生支援機構法 (平成15年6月18日法律第94号)		関係する計画、通知等	「教育振興基本計画」(平成20年7月1日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(独)日本学生支援機構が行う奨学金事業において、東日本大震災の被災学生等に対する緊急採用奨学金の貸与及び奨学金の返還期限猶予制度等に関する運用の改善に伴い奨学金業務システムを改修し、奨学金事業を円滑に実施することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(独)日本学生支援機構の奨学金業務システムについて、以下の改修を行う。 ①緊急採用奨学金の貸与制度の見直し【当該年度の4月以降貸与 → 前年度の事由が発生した月まで遡及して貸与可】 ②第一種(無利子)奨学金の予約採用受付の複数回化【年1回 → 年3回】 ③返還期限猶予制度の見直し【延滞状況にある者に対しては猶予不承認 → 猶予承認可】 補助率10/10								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	-		
		補正予算	-	-	183	-			
		繰越し等	-	-	0	-			
		計	-	-	183	-	-		
	執行額		-	-	183				
	執行率(%)		-	-	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、東日本大震災の被災学生等に対する奨学金貸与事業の運用の改善を図るためのシステム改修を目的としていることから、定量的な成果目標を設定することは困難である。 なお、システム改修を実施し、東日本大震災の被災学生等に対する奨学金貸与事業の運用の改善を図っていく。			成果実績	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	奨学金システムの改修による処理人数			活動実績 (当初見込み)	人	- (-)	- (-)	108千人 (108千人)	- (-)
単位当たりコスト	1,690(円/人)			算出根拠	単位当たりコスト＝平成23年度補正予算執行額(183百万円)／処理人数(108千人)				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	-		-	-					
計		-	-						

事業所管部局による点検				
	評価	項目	評価に関する説明	
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、日本学生支援機構が行う奨学金事業において、東日本大震災の被災学生等に対する緊急採用奨学金の貸与及び奨学金の返還期限猶予制度等に関する運用の改善に伴い奨学金業務システムを改修し、奨学金事業を円滑に実施することを目的としており、優先度が高く国が責任を持って実施すべき事業である。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業に係る契約については、一般競争入札（一部不落随契）で委託先を決定しており、経費の削減に努めるとともに、調達にあたっては、公告期間を適切に確保し、競争性、透明性が確保されている。また、請負契約（一般競争入札）について、事業目的に沿った仕様であるか、仕様に適合した成果に対し対価を支払っているか、厳正に精査している。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業による活動実績は、当初見込みと同数確保しており着実に実施されている。これにより、東日本大震災で被災した学生等への奨学金事業の円滑な実施が可能となり、成果を上げている。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名		—
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	本事業は、東日本大震災において、被災した学生等への緊急採用奨学金の貸与及び奨学金の返還期限の猶予制度に関する運用の改善に伴うシステム改修であり、本改修により奨学金事業等の円滑な実施が可能となり、期待された成果をあげている。			
予算監視・効率化チームの所見				
	本事業は、日本学生支援機構が行う奨学金事業において、東日本大震災の被災学生等に対する緊急採用奨学金の貸与及び奨学金の返還期限猶予制度等に関する運用の改善に伴い奨学金業務システムを改修し、奨学金事業を円滑に実施するために、平成23年度第3次補正に計上した事業であり、平成23年度をもって廃止している。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）				
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
○事業仕分け第1弾（平成21年11月25日） ・事業番号・事業名： 3-53-(1) 大学等奨学金 （WGの評価結果） 見直しを行う（回収の強化、給付型奨学金、経済状況への柔軟な対応、独立行政法人のあり方を中心に） （とりまとめコメント） 大学等奨学金については、見直しを行わないという意見が2名、見直しを行うという意見が14名であった。借金であるから回収を強化すべきという意見が多い一方で、返済方法についての柔軟性や、給付型奨学金を検討すべきという意見があった。また、（独）日本学生支援機構のあり方については見直しが必要であるとの意見が複数あった。当WGとしては、回収の強化、給付型奨学金、経済状況への柔軟な対応、独立行政法人のあり方、といった点を中心に、見直しを行う方向でまとめる。 （当該事業に係る機構ホームページ） http://www.jasso.go.jp/shougakukin/index.html				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	復興-0022	

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



【備考】

*1. 「東日本大震災対応に伴う受入検収結果再検証作業」の委託については、既に実施していた「奨学金業務システムの並行ランテスト実施」に係る業務委託(一般競争入札、平成23年5月～平成23年12月)において、システム上共通する改修箇所が多く切り離しての改修等が困難なことから、当該業務委託に本業務を追加して契約変更を行うことにより実施した。

*2. 「東日本大震災に伴う奨学金業務システム(「JSAS」)外部帳票出力確認及び改修作業」の委託については、既に実施していた「猶予受付(審査中)機能(東日本大震災対応)にかかる奨学金業務システム(「JSAS」)の改修」に係る業務委託(一般競争入札、平成24年1月～平成24年3月)において、システム上共通する改修箇所が多く切り離しての改修等が困難なことから、当該業務委託に本業務を追加して契約変更を行うことにより実施した。

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

費目・使途 （「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出され ている者につい て記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載）	A. (独)日本学生支援機構			A-4. (株)アプリケーションプランニング		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	東日本大震災の被災学生等に対する奨学金貸与事業の運用の改善を図るためのシステム改修	183	業務委託費	既延滞者に対する猶予登録機能(東日本大震災対応)の開発に伴う奨学金業務システムの改修	20
	計		183	計		20
	A-1. (株)インフォメーション・デベロップメント			A-5. 日立ビジネスソリューション(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	東日本大震災対応に伴う受入検収結果再検証作業	50	業務委託費	イクシス改修の奨学金業務システム(「JSASJ」)への取り込み等に関する奨学金業務システム(「JSASJ」)の改修	14
	計		50	計		14
	A-2. 日立ビジネスソリューション(株)			A-6. アイ・システム(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	東日本大震災対応等にかかる奨学金業務システム(「JSASJ」)の改修	46	業務委託費	東日本大震災に伴う緊急・応急採用年度選り貸しと始期設定及び大学等予約採用複数回募集増に関するイクシス改修	5
	計		46	計		5
	A-3. アイ・システム(株)			A-7. アイ・システム(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	業務委託費	猶予受付(審査中)機能(東日本大震災対応)にかかる奨学金業務システム(「JSASJ」)の改修	43	業務委託費	東日本大震災に伴う奨学金業務システム(「JSASJ」)外部帳票出力確認及び改修作業	4
	計		43	計		4

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学生支援機構	東日本大震災の被災学生等に対する奨学金貸与事業の運用の改善を図るためのシステム改修	183	—	—
2	(株)インフォメーション・ディベロップメント	東日本大震災対応に伴う受入検収結果再検証作業	50	2	※—
3	日立ビジネスソリューション(株)	東日本大震災対応等にかかる奨学金業務システム(「JSAS」)の改修	46	2	※—
4	アイ・システム(株)	猶予受付(審査中)機能(東日本大震災対応)にかかる奨学金業務システム(「JSAS」)の改修	43	1	※—
5	(株)アプリケーションプランニング	既延滞者に対する猶予登録機能(東日本大震災対応)の開発に伴う奨学金業務システムの改修	20	2	※—
6	日立ビジネスソリューション(株)	イクシス改修の奨学金業務システム(「JSAS」)への取り込み等に関する奨学金業務システム(「JSAS」)の改修	14	不落随契	—
7	アイ・システム(株)	東日本大震災に伴う緊急・応急採用年度遡り貸与始期設定及び大学等予約採用複数回募集増に関するイクシス改修	5	3	※—
8	アイ・システム(株)	東日本大震災に伴う奨学金業務システム(「JSAS」)外部帳票出力確認及び改修作業	4	1	※—
9					
10					

※ 同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表。